

東京新聞

中日新聞東京本社

探訪 都の企業

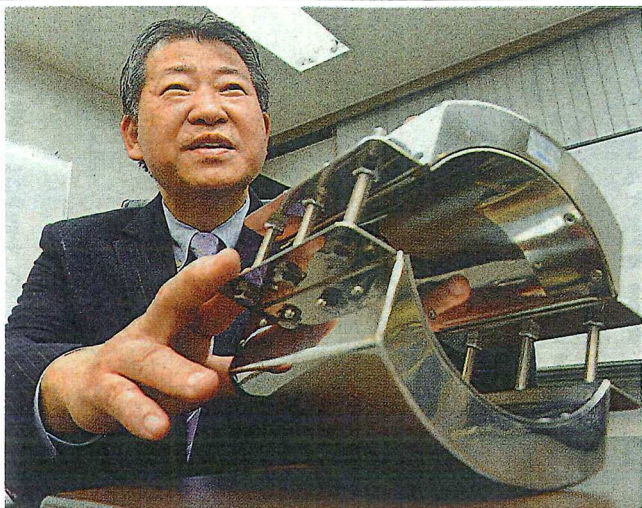
水のインフラ編

上

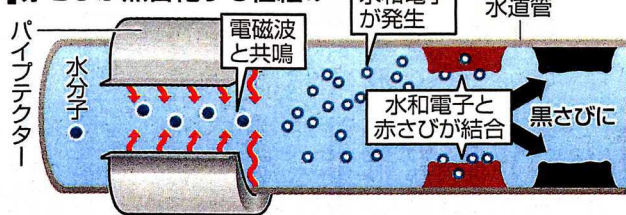
英王室信頼の透明度

英国のエリザベス女王、一月、電気や薬品をパンの不思議な装置が取り付けられた。王が居住し、三百年以、使わずに水道管内に発上の歴史を持つバッキンガム宮殿。二〇〇七、るメイド・イン・ジャの「日本システム企

日本システム企画(渋谷区)



【赤さびが無害化する仕組み】



水道管に取り付け、赤さびを除く「NMRパイプリアクター」について話す熊野浩行社長(東京都渋谷区)の日本システム企画で(伊藤達撮影)

「画」が開発した「NMR」(核磁気共鳴)パイプを使い方はリング状の「プラテクター」。熊野浩行社長は「英国王室に日本独自の技術が認められた」と胸を張る。ウィンザー城の有名老舗デパートの「水と電子」を生ハロズなど歴史的建造物での採用実績は百件を超え、いま英国市場を中心に急成長している。

最大の利点は維持費が不要で、大幅なコスト削減につながる。水道管は赤さびに伴う腐食で二十年を目安に取り換えるが、多くの工事費がかかる。だが、装置を付けた建物の耐用年数中は水道管を取り換える必要がなくなり、「装置購入と水道管取り換えを比べると、費用は二十分の一から十分の一」(熊野社長)になる。

ただ、装置を付けた建物の耐用年数中は水道管を取り換える必要がなくなり、「装置購入と水道管取り換えを比べると、費用は二十分の一から十分の一」(熊野社長)になる。

熊野社長は「赤さびが水に溶ける」といわれる「赤水」になるが、装置を付けるのは一カ月ほどで透明な「砂浜」で一つの砂粒を水に改善される。築三十五年超の車返西住宅(府中市)では二〇〇一年に二千五百万円で装置を四つ購入。管理組合の殿垣英一理事長は「赤水の苦情は全くなくなった」と効た。

ただ、一九九八年の壁が高い上、新しい技術の採用に慎重なため売れなかった。「前例のない仕組みだけに『詐欺商品だ』と中傷も受けた」と熊野社長。学会で科学的効果が立証され、英国での採用実績も広がるなど、ようやくその効果に認められるようになった。減の「切り札」になる可能性を秘めている。

◆ ◆ ◆

今後の課題は学校など公共施設への普及だ。これまで装置が設置されたのは、ほとんどが民間病院やマンシヨンで、自治体での採用は進んでいない。国創的な技術を持つ「都の企業」を紹介する。